

不安を解消します！！

自宅待機の豆知識②



前回に引き続き、今回は自宅待機の具体的なお話です！



入社したらいきなり自宅待機が始まるの？



いきなりではないですよ！自宅待機は、訪問看護が1人でできるようになる、入社後2～3ヶ月目以降から始まります。



最初から自宅待機は1人で行うの？



最初から1人というわけではありません。まずは先輩看護師とのダブル待機から始まり、その後先輩のフォローを受けながらの自宅待機、1人での自宅待機と段階を経て慣れていってまわっています。



それを聞いてちょっと安心！



1人での自宅待機時も、相談できる体制があるので大丈夫ですよ！



自分が見たことのないご利用者から電話を受けるのは不安だけど・・・



ミーティング等で事前に情報収集を行うので、準備をしてから自宅待機に入ることができます。夜中や休日に変化が予測されることがあれば、その旨申し送りが行なわれるので、自宅に帰る前に対応方法を確認しておけますよね。



確かに準備ができると安心！でもカルテが見れば更に安心なんだけど・・・



できますよ。記録に使用しているiPadを自宅に持ち帰ることができるので、自宅でも事業所にいる時と同じように情報収集ができちゃうんです。見たことのないご利用者から電話がかかってきても、手元にiPadがあると心強いですよ！



それはすごく心強い！！



緊急時はどうしたらいいの？



緊急時の対応方法や、緊急搬送先について、事前に医師から指示を受けているので、安心して対応できます。予測されることは事前に指示を受けておくことが鉄則ですよ！



それならいざという時も対応できそう。



少しは自宅待機の不安が解消されましたか？



具体的な様子がわかったので、自宅待機もできそうな気がしてきました！